

## 平成24年度第1回花巻市地域公共交通会議会議録

日 時 平成24年8月28日(火) 午後1時30分～午後2時30分  
場 所 生涯学園都市会館 3階 中ホール  
出席者 委員24名中21名出席(うち代理出席3名)  
内 容 1 開会  
2 委員紹介  
3 会長・副会長選出  
4 会長あいさつ  
5 説明  
    (1) 花巻市地域公共交通会議について  
    (2) 市内の公共交通の概要について  
6 協議  
    (1) 太田地区予約乗合タクシーの運行について  
    (2) 県立中部病院連絡予約乗合タクシーについて  
7 その他  
8 閉 会

事務局(佐藤課長) これより平成24年度第1回の花巻市地域公共交通会議を開催させていただきます。これより委員の皆様をご紹介します。

事務局(阿部係長) ≪出席委員を紹介≫

事務局(佐藤課長) 続きまして、会長、副会長の選出に入りたいと思います。選出については、設置要綱第5条に基づき、委員の皆様の互選により選出することとなりますが、いかがでしょうか。

佐藤委員 事務局案がありましたら、よろしくお願いします。

事務局(佐藤課長) 事務局案との発言がありましたがいかがでしょうか。  
≪委員より異議なし≫

事務局(佐藤課長) 事務局案といたしまして、会長に花南地区コミュニティ会議会長の小原守委員、副会長に花巻市まちづくり部長を提案させていただきます。よろしく願いいたします。

≪委員より異議なし≫

事務局(佐藤課長) それでは、小原委員につきましては、会長席にご移動願います。  
さっそくですが、会長あいさつをお願いします。

小原会長 ただいまご紹介いただきました小原と申します。委員の皆様を見ますと公共交通に携わる皆様や先輩の皆様がいらっしゃいますが、与えられた任務を果たしたいと思えます。私は、住民、利用者代表として選出されていますので、市民目線での公共交通



議も必要かと思しますので、可能であれば対応してほしいと思います。

小原会長 今回の件につきましては、ご意見として承りたいと思います。

佐藤委員 地区で集まると公共交通の話題が出ます。それは、太田線を復活してほしいというものです。やはり利用者がいなければ、仕方ないとは思いますが、現在のように、平日だけではなく、土日の運行はできないものか。公共交通を利用するのは、自家用車を持たない高齢者です。土日の買い物や市内のイベントへ参加したいという方もいるので、利用者も増えると思いますが、いかがでしょうか。

事務局（八重樫副主任） お答えします。現在は、「むらの家」で乗り継ぐという方式をとっていますが、県交通太田線が土日は運休しておりますので、ご要望を満たすためには、対象のエリアと市街地を直接結ぶ内容となっていくと思います。そのような運行内容につきましては、この場でお答えしかねますので、ご意見として受けたいと思います。

佐藤委員 家族がある場合はいいが、家族がない高齢者から要望として聞くので、よろしく検討願います。

小原会長 ほかに無ければ、原案のとおり進めることとしてよろしいでしょうか。

《委員より異議なし》

小原会長 それでは、次の協議に入ります。事務局より説明願います。

事務局（八重樫副主任） 《協議》 （2）県立中部病院連絡予約乗合タクシーについて

上田委員 1便あたり2人に満たず、今後も増える見込みがなく、廃止を前提に進めたいとのことですが、利用されている方がいるわけで、その方々が廃止された場合、タクシーを利用した場合の経済負担が心配されます。中部病院以外の医療機関を利用する方とのバランスもあると思いますが、代替手段は検討していますか。

事務局（佐藤課長） 実利用者数を把握したうえで、検討していきたいと思います。

菊池委員（まちづくり部長） 考え方だけ説明させていただきます。花巻市では、まず、かかりつけ医を持っていただき、一次診療はかかりつけ医で受診していただく、二次診療は中部病院や日赤などの高度医療機関で受診していただくというように、医師不足の中での医療確保があると思います。市民の皆さんは、中部病院を厚生病院の代替えとして考えたところがありますが、実態は代替ではなく、高度医療を提供する機関であるため、かかりつけ医としての性格がありません。そのような社会情勢の中で、このように公共交通の利用者は減少しています。確かに述べ人数で180名はいますが、実際の利用者数を分析しながら、公費で負担することが適切なのかという視点もありますので、分析しますが、医療機関の性格が以前と変わってきたという前提の中で、公共交通がどうあればいいかを考えたときに、自助努力という視点もあると思いますので、本日はこのように説明させていただきました。

- 平野委員 関連しますが、利用者は固定していると推測されます。市の関与した対策として、コストに合わないということでの決断もあると思いますが、違う手段での対策も必要ではないかと考えます。高齢者は福祉タクシー券を活用していると聞きます。公共交通ではありますが、予約乗合タクシーは福祉施策のようになっていますので、ほかの福祉施策との兼ね合いも見ながら検討していただきたいと思います。
- 小原会長 ほかにご意見、ご質問がありませんか。無いようでしたら、次回の交通会議において、最終的に判断を行うということですので、本日はよろしいでしょうか。
- 上田委員 次回会議で廃止を協議するというのであれば、本日出された意見の検討結果も併せて説明していただきたいと思います。
- 小原会長 では、次回会議において、協議に併せて今回出されました意見の検討結果を説明することで事務局よろしいですね。
- 事務局（佐藤課長） 説明させていただきます。
- 市川委員 新しい委員も多いので、この資料にある以外の自主運行バスの利用状況をお知らせいただければと思います。
- 事務局（八重樫副主任） 市内の公共交通について、8月15日号の市広報誌で特集しております。その中に自主運行バスの利用状況や市の負担額、県交道路線バスの維持に要した補助金の額などを掲載していますので、委員の皆様へお送りいたします。
- 小原会長 他に何も無ければ、これで協議は終わります。続いて、その他ですが、事務局よりありますか。
- 事務局（佐藤課長） ありません。
- 小原会長 それでは、閉会をお願いします。
- 事務局（佐藤課長） それでは、これで平成24年度第1回の花巻市地域公共交通会議を閉会させていただきます。ありがとうございます。